

北海道コカ・コーラボトリング(株)札幌工場は、コカ・コーラや爽健美茶、いろ・は・す、ジョージアコーヒーなど多くのコカ・コーラ製品を作っている清涼飲料水の製造工場。

札幌市の小学4～6年生の親子18組36名に、コーヒーやお茶などの製造ラインの見学と、きき水などの実験を通して、飲み物の安全がどのように守られているか、そして、その原料となる水を守る大切さを学んでもらいました。



見学先 北海道コカ・コーラボトリング札幌工場(清田区清田1条1丁目)

日時 平成24年1月12日(木) 13時30分～17時30分

参加者 小学4～6年生の親子 18組36名

子ども

参加された方の声 (参加者アンケートから)

大人

- 今日は工場見学もクイズもすごく楽しくて勉強になりました。これからもお仕事ががんばって下さい。
- 工場のことわかり、今までよりもっと安心して飲めるような気がします!
- コカ・コーラの安心さがよくわかりました。あとクイズなどにしてわかりやすくしてよかったです。
- 今日はすごく楽しかったです! 前も白旗山植樹活動をやって楽しかったからまた参加しようと思います。

- 水を大切にしているコカ・コーラの取り組みがわかった。
- 企業の活動がわかり、安心して製品が買えるような気がする。
- なかなか自分で工場見学はしないのでこのような機会に参加できてよかった。
- 日頃口にする飲料水が身近な清田の水が使われている事はあまり知られていないと思う。これからはコカ・コーラ製品を手にする事が多くなると思う。
- 驚き、発見、とても楽しかった。また親子で参加したい。

◎ 知っていますか? “さっぽろ食の安全・安心推進協定制度”

安全なものを、安心して食べたいと思っている消費者。一方、食品に携わる事業者や団体は、安全な食を提供するため、さまざまな努力をしていますが、その取り組みを消費者が知る機会はありません。



協定ロゴマーク

そこで、“食べる人(消費者)”と“つくる人(事業者・団体)”を結ぶ新たな事業として、札幌市がはじめたのが“さっぽろ食の安全・安心推進協定制度”です。

この制度では、より一層の食の安全と消費者の信頼向上を目指し、事業者や団体と札幌市が協定を結びます。事業者や団体は、食の安全に対する取り組みを「マイルール」として積極的に公開し、札幌市は、それらの取り組みを消費者の方に広く正しく伝わるよう情報提供を行っています。

協定を結んだ事業者・団体の取り組みは、本協定のガイドブックや札幌市ホームページで見ることができます。

[ホームページ] <http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/shoku/shokumachi/kyotei>

協定ガイドブック
配布中!

